

「世界遺産・二条城」の概要

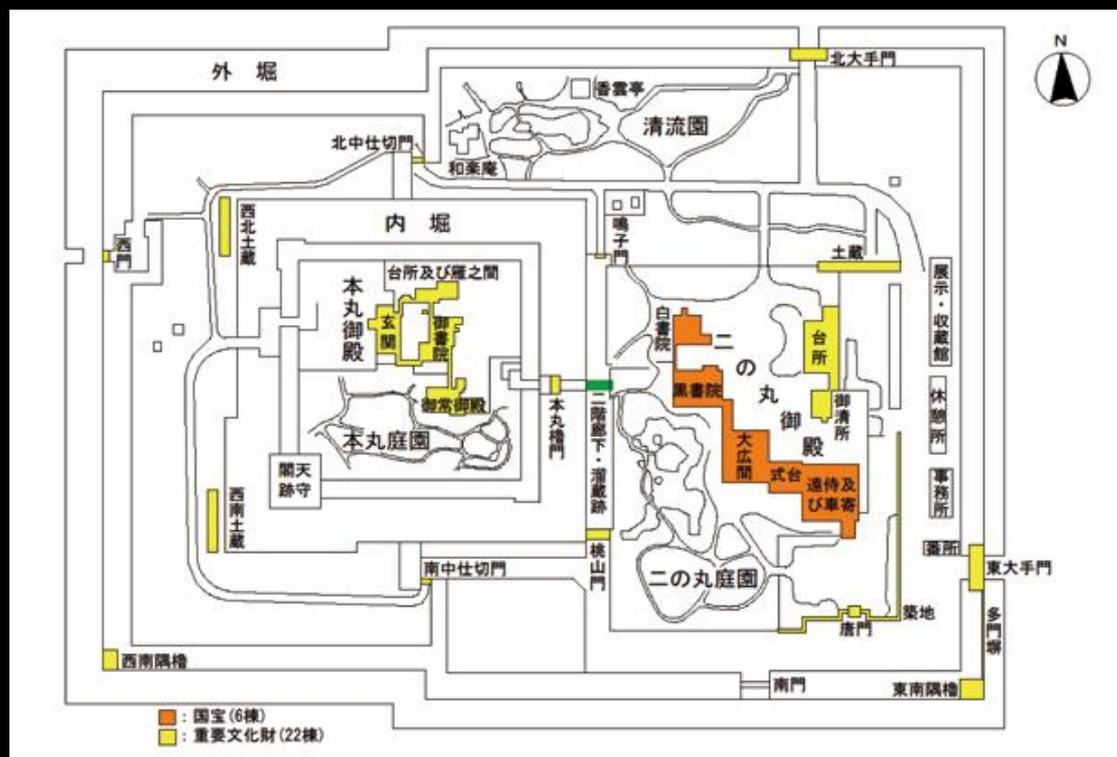
平成28年5月

京都市元離宮二条城事務所

施設概要

●元離宮二条城

400年前の寛永の時代に徳川家康が造営し、大政奉還をはじめ数々の歴史の舞台となった二条城。京都を代表する文化観光スポットとして、国内外の皆様に愛されている。



総面積 275,000㎡
(甲子園5つ分)

外周 約2km
東西 約600m
南北 約400m

文化財建造物 7,300㎡
庭園

- ・ 二之丸庭園
- ・ 本丸庭園
- ・ 清流園

花木 15,000本
・ マツ 1,300本
・ サクラ 300本

文化財指定

- 史跡：旧二条離宮（二条城） 昭和14年(1939年)指定
 - 二条城の敷地すべてが史跡に指定
- 国宝（建造物） 計6棟 昭和27年(1952年)指定
 - 二之丸御殿
 - 遠侍，式台，大広間，蘇鉄之間，黒書院，白書院
- 重要文化財（建造物） 計22棟 昭和27年(1952年)指定
 - 本丸御殿
 - 櫓門，御殿玄関，御殿御常御殿，御殿御書院，台所・雁之間
 - 唐門，台所，東大手門，北大手門，東南隅櫓ほか
- 重要文化財（美術工芸品） 計1016面
 - 二之丸御殿障壁画
- 特別名勝
 - 二之丸庭園

歴史

年号	歴史
1603（慶長8）年	徳川初代将軍家康が京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所として造営
1626（寛永3）年	三代将軍家光が，後水尾天皇の行幸に合わせて改修し，ほぼ現在の姿となる
1750（寛延3）年	雷火により，五層の天守焼失
1788（天明8）年	市中の大火により，本丸御殿焼失
1867（慶応3）年	10月 二の丸御殿大広間にて，15代将軍慶喜が大政奉還の意思表示，二条城は朝廷のものとなる
1884（明治17）年	7月 二条離宮となる
1893（明治26）年	京都御所の旧桂宮御殿を移築，本丸御殿とする
1915（大正4）年	大正天皇の即位の大典が行われ，そのために大饗宴場（現在の清流園の位置）や南門が造営された
1939（昭和14）年	二条離宮は宮内庁から京都市へ下賜される
1940（昭和15）年	恩賜元離宮二条城として一般公開をはじめ
1965（昭和40）年	清流園造成 角倉家の屋敷跡から和楽庵，香雲亭を移築
1994（平成6）年	ユネスコ 世界遺産に登録される
2005（平成17）年	築城400年記念 展示・収蔵館 開館

入城者数の推移

- 二条城には、日本を代表する文化財を一目見ようと、世界各地から年間170万人以上の観光客が訪れる



全国の城郭の入城者数

●過去3年間の入城者数ランキング

(単位：千人)

城郭名	順位	平成24年度	順位	平成25年度	順位	平成26年度
大阪城天守閣	③	1,512	⑤	1,555	①	1,838
首里城	①	1,753	①	1,733	②	1,813
元離宮二条城	④	1,499	③	1,630	③	1,657
名古屋城	⑤	1,472	②	1,657	④	1,642
熊本城	②	1,580	④	1,598	⑤	1,632

全国城郭管理者協議会調べ

財務状況

●過去3年間の運営状況

(単位：百万円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
主な収入	使用料（入城料，MICE利用料等）	817	888	925
	寄附金	43	45	136
主な支出	二条城運営費（ランニングコスト）	270	236	246
	城内施設の改修経費（本格修理を除く）	188	151	184
	本格修理費	140	83	23

●主な大規模施設整備事業

- 二条城本格修理事業（平成23年度～20年間，約100億円）
- 二之丸御殿障壁画保存修理（平成14年度～）
 - 平成27年度末までの進捗状況25%，平成50年度完成予定
- 二之丸御殿障壁画模写，はめ替え事業（昭和47年度～）
 - 平成27年度末までの進捗状況70%
- 東側空間整備事業（平成26年度～29年度，約4.6億円）
- 大休憩所耐震改修工事（平成27年度，約1.8億円）

主な年間行事

日程	イベント
4月9日	「観桜茶会」 春の清流園で、表千家によるお茶会を開催
5月3日 ～5日	「市民煎茶の会」 新緑の美しい清流園を眺めながら各流派による煎茶の会を開催
8月上旬 ～8月下旬	「京の七夕」 京の七夕を旧暦の七夕にあたる8月に、プロジェクションマッピング（二之丸御殿）や名産品展（台所前）を開催
10月中旬 ～12月中旬	「二条城まつり」 期間中に、放鷹術の実演や人力車の体験乗車などを開催
10月下旬 ～11月上旬	「市民大茶会」 裏千家、表千家、藪内家各流派による大茶会を開催
3月下旬 ～4月上旬	「二条城ライトアップ」 200本を超える桜や庭園等をライトアップ

世界遺産・二条城MICEプランの概要

- 平成26年度から、二条城の格式や歴史的価値を最大限に活用し、二条城をMICE会場として使用していただく「世界遺産・二条城MICEプラン」事業を実施（使用料は本格修理事業の財源として活用）



※MICE: Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Event

世界遺産・二条城MICEプランの実績

●平成26年度実績 9件 (収入 3,600万円)

	日時	事業内容
1	5/11	京都舞妓大撮影会
2	6/8	「太秦ライムライト」プレミア試写会
3	9/19,21	‘響の都’オペラの祭典
4	10/10~12	着物展示会
5	10/18	二条城で楽しむ古典芸能 ~人形浄瑠璃 文楽~
6	10/24~12/14	アートアクアリウム城~京都・金魚の舞~
7	11/15	顧客向けレセプション
8	11/21~24	京都店オープニング記念巨大オブジェ広告設置
9	3/14	将棋電王戦FINAL

●平成27年度実績 14件 (収入 2,700万円)

	日時	事業内容
1	4/3	ロイヤル化粧品社内インセンティブ
2	4/12	日本医学会総会2015カクテルレセプション
3	4/15~22	フェラガモ記者会見等及び展示会
4	5/8	シティバンク社内インセンティブ
5	5/15~17	ツカモト(株)着物展示会
6	6/21~22	京都知新
7	8/11	二条城夜会
8	9/12	小澤征爾音楽塾 京都・二条城特別演奏会
9	9/26	第十二回雅藝之会 雅藝meets二条城
10	10/2	世界遺産二条城と黄金の調べ
11	10/5	S T S フォーラム歓迎レセプション
12	10/16~18	ツカモト(株)着物展示会
13	10/23~12/14	アートアクアリウム城
14	1/16~17	旅するティースタンド

世界遺産・二条城ウエディング事業

- 日本全国及び海外から、世界遺産・二条城において挙式を行うカップルを募集し、二条城が誇る建築・工芸・絵画等の芸術文化に彩られた歴史的空間の中で、京都の有する伝統文化を取り入れた結婚式を行う
- 「和」の文化の多彩な魅力を体感してもらうとともに、二条城の新たな魅力を発信
- 平成21年度から事業開始

● 挙式実績

実施年度	挙式組数
平成21年度	21組
平成22年度	60組
平成23年度	40組
平成24年度	54組
平成25年度	50組
平成26年度	49組
平成27年度	51組



ウエディングのイメージ写真

世界遺産・二条城本格修理事業

- 平成23年度からおよそ20年の歳月をかけ、28棟の文化財建造物を中心に城内の歴史的建造物の修理や整備を行う



二之丸御殿障壁画の保存修理・模写事業

- 重要文化財の指定を受けた障壁画1,016面の劣化、損傷を防ぎ、恒久的に保存するための修理を行い、原画は展示・収蔵館へ保管している
- また、原画に代えて、御殿内に嵌めておく模写障壁画の作製についても取組を進めている

東側空間保存整備事業

- 二条城の歴史的資産を保全しつつ、東大手門前に来城者を迎えるにふさわしい空間とエントランス広場を設け、安全性の向上、景観の改善、災害時の対応の強化を図る



世界遺産・二条城一口城主募金事業

- 本格修理事業は、1603年徳川家康による築城以来の大修理であり、約100億円の資金が必要
- 財源の確保と文化財保存の意義を広く知ってもらうため、「世界遺産・二条城一口城主募金」に取り組んでおり、また募金への動機付けのため、募金額に応じた特典を設けている
 - 募金開始：平成22年10月から
 - 募金額に応じた特典：一日城主体験，無料入城証交付，芳名板掲出，

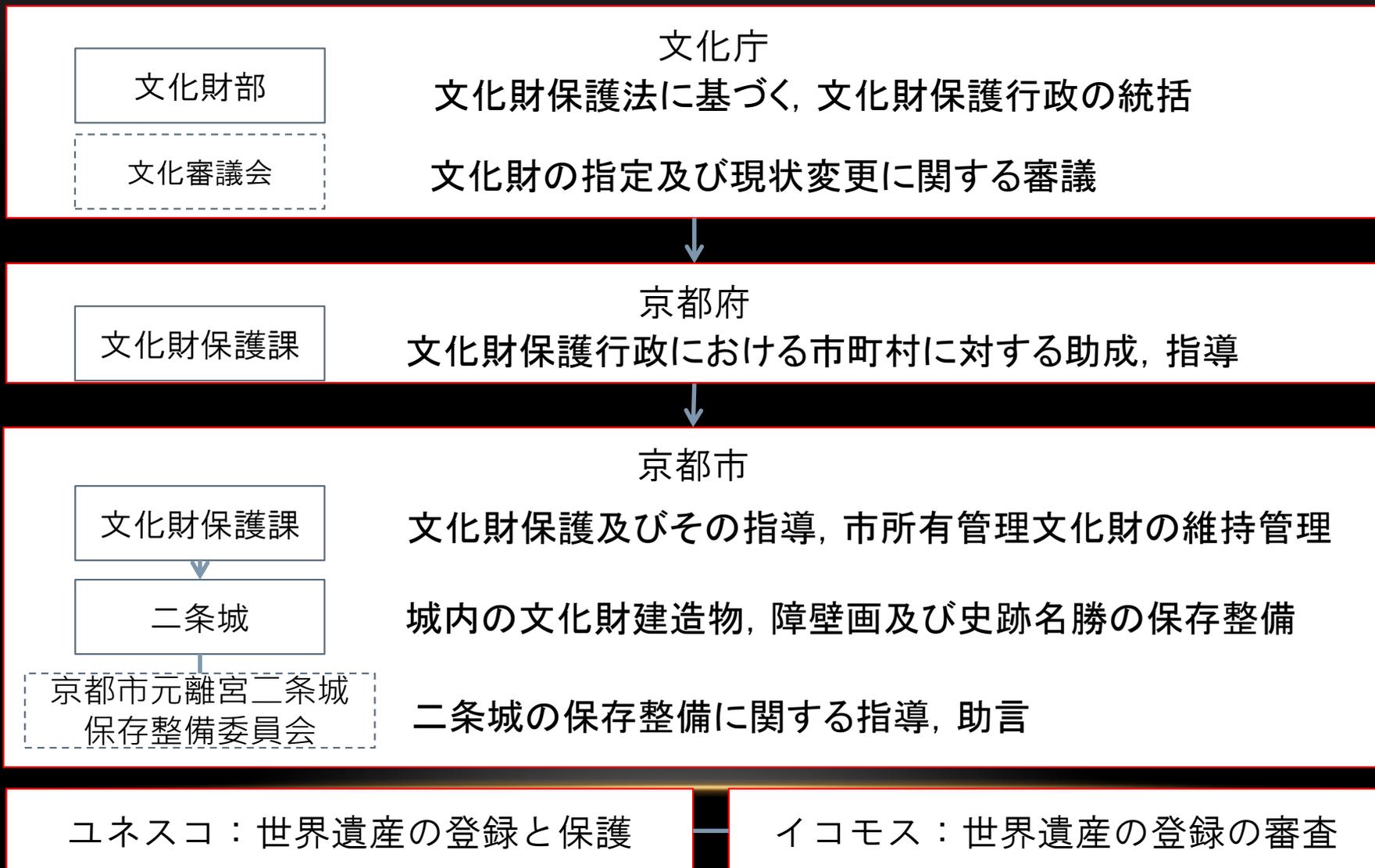
缶バッチの進呈

●寄付実績（平成27年度末累計）

347,000千円

- 個人 : 148,000千円
- 法人 : 119,500千円
- 城内募金箱 : 79,500千円

文化財保存活用の仕組



案内サービス

●音声ガイド

- ・ ポータブル音声ガイドシステム（日・中・韓・英・仏・ス語対応，有料）
- ・ 二の丸御殿内 ボタン式音声案内機（日本語対応，無料）

●パンフレット

- ・ 日・英・中・韓語対応

●案内板

- ・ 城内の施設や観覧ルートなどを掲示

休憩施設

- ・ 大休憩所（売店，喫茶）
- ・ 清流園内 和楽庵（喫茶）
- ・ 西橋休憩所
- ・ 清流園休憩所



大休憩所



和楽庵

別添資料

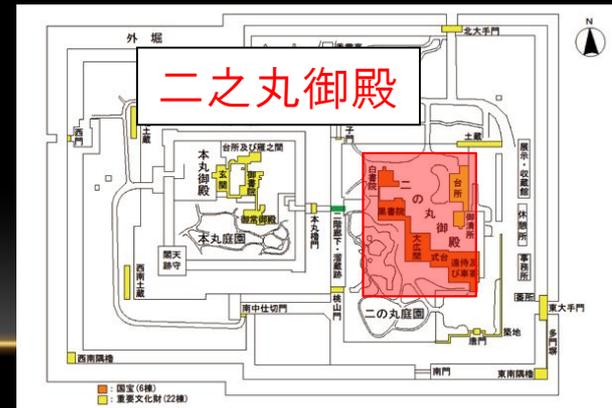
二条城の文化財：国宝・二之丸御殿（1）

国宝（建造物）：二之丸御殿 <計6棟>

- 書院造の二之丸御殿は、400年前の家康時代の姿をそのまま残している
- 初代徳川家康の征夷大將軍宣下の祝賀に始まり、15代將軍徳川慶喜の大広間での大政奉還の意思表示など、数々の歴史の表舞台となった
- 用途の異なる6棟の建造物から構成されており、奥の建造物ほどプライベートなものになっている
- 上から見ると鳥の雁が群れを成して飛ぶ姿に似ていることから、雁行形と呼ばれる



二之丸御殿 車寄



二条城の文化財：国宝・二之丸御殿（2）

国宝（建造物）：二之丸御殿<計6棟>

ア 遠侍

- 二の丸御殿に昇った人たちが最初に足を踏み入れる控えの間

イ 式台

- 幕府の要職，老中と挨拶を交わす場所

ウ 大広間

- 将軍が大名等と対面する場
- 15代将軍徳川慶喜が大政奉還の発表を行った場所 大広間 一之間



エ 黒書院

- 徳川家の血を引く親藩大名や，位の高い公家等の限られた人々だけが入ることを許された場



オ 白書院

- 将軍が居間として利用した場

黒書院 一之間

二条城の文化財：重要文化財（建造物）

重要文化財(建造物)：二之丸御殿唐門，東大手門，本丸御殿等 <計22棟>

ア 二之丸御殿唐門：寛永2年（1625年）建築

- 屋根の正背面にカーブを描いた飾り「唐破風」が付くことから唐門と呼ばれる。屋根は檜の皮を一枚一枚打ち付けて重ねた檜皮葺

イ 東大手門：寛文2年（1662年）頃 建築

- 二条城の正門，東大手門は石垣と石垣の間に櫓を渡し，その下を門とする建造物。屋根は本瓦葺で，全体は木造

ウ 本丸御殿：明治27年（1894年）移築

- 二条城が二条離宮になった後，桂宮御殿の主要建造物を本丸に移築



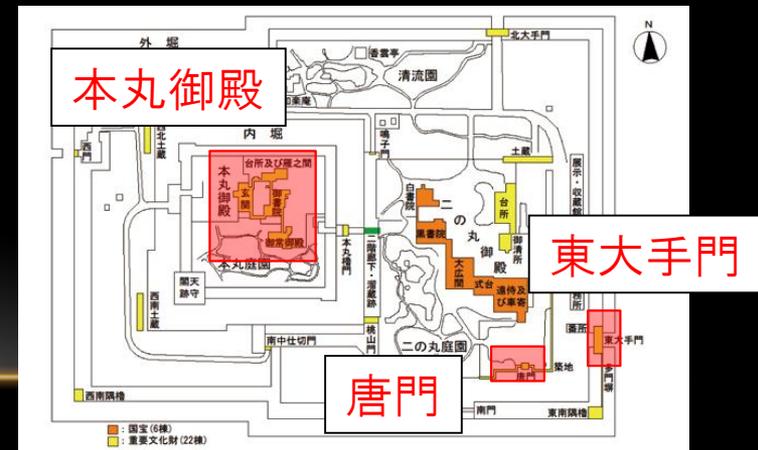
二之丸御殿唐門



東大手門



本丸御殿



二条城の文化財：重要文化財（美術工芸品）

二条城二之丸御殿障壁画<計1016面>

- 寛永の大改修の際、幕府の御用絵師、狩野派の精鋭たちによって、当時、最高水準の技術と材料をもって制作された
- 黄金色に輝く金箔を背景とし、巨大な樹木を中心にダイナミックに展開する画面は、戦国武将たちが好んだ豪壮華麗な桃山様式を受け継ぐ



松鷹図

- 築城400年記念 展示・収蔵館
- 二の丸御殿障壁画の原画を恒久的に保存するため、二条城築城400年を記念して、平成16年3月に竣工し、平成17年10月10日に開館



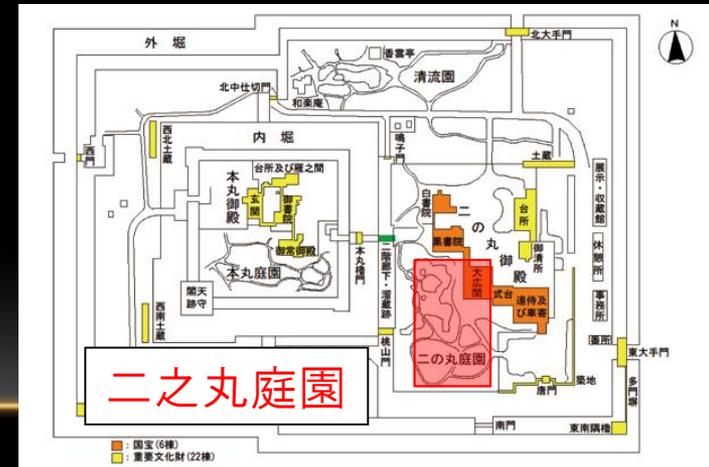
二条城の庭園（特別名勝・二之丸庭園）

特別名勝：二条城二之丸庭園<15,917.35㎡>

- 二条城二之丸庭園は慶長8年(1603年)頃に、御殿の中から眺めるために作られた書院造庭園（作庭は、作事奉行の小堀遠州）
- 池の中の3つの島は、徳川家の繁栄の願いを込め、中国の神仙思想に基づき、仙人が住み、不老不死の薬があるという島が海に浮かぶ様子を表現
- 1626年の後水尾天皇の行幸に際して、庭園南部に行幸御殿が建てられた



二之丸庭園



二条城の庭園（清流園）

- 昭和40年（1965年）に京都市が、迎賓施設として造営した和洋折衷庭園
- この庭園を築くための建築部材、庭石、樹木の多くは高瀬川を造成した京都の豪商・角倉家の屋敷跡から譲り受けた
- 庭園の西半分は和風で、2棟の茶室が建っている
- 北東に建つ香雲亭は譲り受けた屋敷の一部を移築
- 西に建つ和楽庵は、同じく移築した屋敷の一部に表千家の茶室「残月亭」の複製を新築し、合築したもの



和楽庵



清流園

二条城の庭園（本丸庭園）

- 本丸造営当初は、枯山水庭園として造成
- 明治27年（1894年）の本丸御殿移築にあわせて、明治天皇の命により、洋風庭園に改造された
- 東側に小高い山を配置し、その前に敷き詰められた芝生の中を、小路が曲線を描き廻っている



二条城の花木

樹木総数 約15,000本

高木(H=2m以上) 5,000本, 低木(H=2m未満)10,000本

- マツ類 約1,300本
- サクラ類 約300本
 - 二条城のサクラは城内全域で、サトザクラ、ヤマザクラ、ソメイヨシノなど、約300本・50品種が植えられ、サクラの咲く3月下旬から4月にはサクラを目当てに多くの市民や観光客の方が訪れる名所となっている
- ウメ類 約130本
- ツバキ類 約300本
- エンジュ 約60本
- その他, ツツジ類, 茶垣など



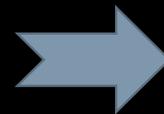
清流園の桜

二条城の保存修理工事

- 平成23～25年度に行った保存修理工事では、二条城の歴史を象徴するかのよう、一部の菊紋飾金具の下に葵紋の飾金具が隠されていることを確認した
- 菊紋は天皇家、葵紋は徳川家の家紋である
- 平成25年8月に唐門の保存修理工事が完成



保存修理工事<前>の唐門



保存修理工事<後>の唐門

★現在、東大手門を修理中。平成29年3月完成予定。
今後、本丸御殿、二の丸御殿等を順次、修理。